

なかよく 令和6年度 6月号



かしこく

150th Anniversary 元気よく

令和6年6月28日 文責 黒木 幸博

各学年、ふるさと学習が始まりました

「地域を学ぶ」「地域に学ぶ」ことで「ふるさとを愛する子供たち」を育てる「ふるさと学習」が始まりました。

総合的な学習の時間を中心に、3年生は「福祉と食文化」、4年生は「環境（幸野溝他）」5年生は「農業（米づくり他）」、6年生は「湯前で活躍する『きらり人』」をテーマに1年間、学習していきます。

ふるさと学習の先生は「地域の方々」です。保護者をはじめ地域の皆様、ご協力をよろしくお願いします。



9月に実施される運動会。早速、ダンスの練習がスタートしました。文化庁「学校における文化芸術鑑賞・体験推進事業」を活用したダンス学習です。子供たちの楽しく学ぶ姿がありました。9月の運動会でもその姿が見られるよう、頑張ります。

夏は、プールで楽しもう！



小学校にプールがないため、プールの日は、2時間構成で授業を行います。（中学校までの往復の時間を含むため）

中学校まで歩くのも、楽しみの一つですね。

学校HPの紹介

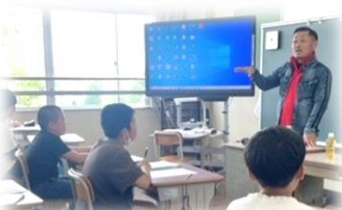
閲覧回数が増えています。ありがとうございます。右のQRコードからご覧ください。



米づくり（種まき）（5年）



米づくり（田植え）（5年）



常笑ファーム（多良木さん） 役場職員（西さん）
きらり人の講話（6年）

今年度の人権スローガン

みんなに同じように接し、相手のよさを認め合い、笑顔になれる学校生活を送ろう。



人権集会では、各学年の人権宣言を発表しました。みんなで「笑顔の学校」をつかっていけるよう、保護者の皆様もご協力、よろしくお願いします。

教育実習がありました。



湯前小学校卒業生の2人が教育実習を行いました。

将来、先生になり湯前小学校に戻ってきてくださいね。
高瀬桃伽さん（左）
椎葉陽花さん（右）

校長より

校長室前の【今月（6月）の言葉】

「人は憂えるから『優しい』。
優しいことが、人として『優れている』」
太宰 治さん（作家、代表作「走れメロス」等）という方の言葉です。6月は「心のきずなを深める月間」でした。7月以降も「優しい」人でいましょうね。

夏休みまで3週間。暑い日が続きますが、健康に気をつけながら頑張っていきましょう。

校長人権推進会議に参加して

校長 黒木 幸博

6月は「心の絆を深める月間」です。標記の会議の中で、広島県にある私立盈進中学高等学校の延和聰校長先生の講演を聞く機会がありました。延先生は、ハンセン病問題に長年関わっておられる方です。盈進学校にヒューマンライツ部という部活動があります。延先生が校長になる前に作られた部で、創部以来、長島愛生園（岡山県にあるハンセン病療養所）と学習交流を行っています。創部当初にあった出来事の話がとても心に残りました。保護者や地域の皆様にもお伝えしたいと思い、簡単にまとめました。ご一読いただけると嬉しいです。

交流学習を数日に迫ったある日、高校3年生（当時）のまり子さん（仮名）が泣きながら職員室に入ってきて「私は長島愛生園に行きたいけど、行けなくなりました。母の友人が『行かせちゃいけない、うつるよ』と母に伝えて・・・私は母に『療養所の入所者はみんな治っている人たちで目に見える障がいは後遺症である』と説明したんだけど・・・」と。延先生は「大学に入学したら、まり子さんの意志で愛生園と一緒にいこう」と約束しました。

大学生になったまり子さんは、当時のヒューマンライツ部の仲間と一緒に愛生園に行きました。そこで、金さん（療養所入所者）に、高校時代に愛生園に来ることができなかった理由を話し、そして、今日の訪問のことを母に話したいと伝えました。金さんはまり子さんに「お母さんもつくられた差別の犠牲者なんだ。今日のことをお母さんに伝えるというまり子さんを嬉しく思う。ありがとう。」と言われたそうです。

延先生は、まり子さんから「ものごとや相手に向き合う誠実さ」を学び、金さんから「誠実さには誠実さで応えること、差別は社会構造の中でとらえること、けっして人を憎まないこと」を学んだそうです。

差別は社会構造の中で・・・とは、つまり「差別の連鎖」を意味します。

延先生は、「差別の連鎖を断つために、おとなは『教える』、子どもは『教えられる』という関係ではなく、謙虚に『共に学ぶ』関係でなければならない。『差別のない“共に生きる社会”』の構築のために最も大切な関係性である」と言われました。

学校では、人権学習や道徳を中心に「こころ」を育む学習を行っています。そのときに大切なのは、私たち教師が「共に学ぶ」姿です。ご家庭でも、保護者の方の「共に学ぶ」姿をお願いしたいと思います。